

# 飯山赤十字病院

Japanese Red Cross Society

診療のご案内 2023



日本赤十字社 飯山赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

# INDEX

ごあいさつ	1
病院概要	2
内科	4
呼吸器科	5
消化器科	6
循環器科	8
小児科	8
外科	9
整形外科	10
脳神経外科	11
産婦人科	12
皮膚科	13
泌尿器科	13
皮膚科	21
眼科	14
救急科	15
耳鼻咽喉科	15
麻酔科	16
放射線科	16
リハビリテーション科	17
検査技術課	18
病理技術課	19
回復期リハビリテーション病棟	20
地域包括ケア病棟	20
ご紹介について	21
CT・MRI検査予約について	24
訪問看護ステーション	25
居宅介護支援事業所	26
地域医療福祉連携課	27
健診課	28

## 飯山赤十字病院の基本理念

人道・博愛の赤十字精神に基づき、  
患者さん中心の地域医療を実践します。

## 病院の基本方針

1. 患者さんの権利を尊重した医療を行います。
2. 安全で質の高い医療を提供します。
3. 医療、保健、福祉施設との連携を推進します。
4. 高齢社会に即した在宅医療、予防医療を実践します。
5. 救急医療、災害救護、講習会等普及事業に取り組みます。
6. 明るく働きがいのある病院を創ります。
7. 地域社会に貢献するため、健全経営を目指します。

## 診療の基本方針

私たちは、病院の理念・基本方針に基づき  
次に定める診療を行います。

1. 患者の人権、意思を尊重した医療を実践します。
2. 科学的な根拠に基づいた質の高い医療をすべての患者へ公平に提供します。
3. 医療の内容について十分に説明し、理解と同意を得たうえで適切な診療を行います。
4. セカンドオピニオンへ積極的に対応します。
5. 個人情報適切に管理します。
6. 医療事故・院内感染を防止し、安全な医療を提供します。

## 患者さんの権利の尊重

私たちは次に掲げる患者さんの  
権利を尊重します。

1. 人としての尊厳が守られる権利
2. 個人情報とプライバシーが守られる権利
3. 安全で適切な医療を受ける権利
4. 十分な説明を受け納得して医療を選ぶ権利
5. セカンドオピニオンを求める権利



# ごあいさつ



地域の皆様方に日ごろから格段のご厚誼を賜り厚くお礼申し上げます。

当院は60年以上に渡り、この岳北地域で医療の要として「人道・博愛の赤十字精神に基づき、患者中心の地域に密着した医療を実践」して参りました。

令和5年COVID-19感染拡大も4年目になりましたが、まだ収束の兆しは見えません。当院も令和4年度には数回の院内感染と病棟閉鎖により病院運営に大きく影響を受けました。5月8日以後、新コロナは感染法上2類から5類へ変更され、国の感染対策の簡略化と診療支援策の縮小が見込まれますが、当院は感染対策を徹底しながら地域医療の維持に努めて参ります。またウクライナーロシア紛争も2年目となり日本にも様々な影響が日本国内にも及び不安な世相です。人口減少と高齢化が進む日本社会において、政府は、2024年開始の働き方改革による労働人口減少対策や2025年をめどに医療圏ごとの地域医療構想の構築を目指しています。

私たちも、北信医療圏の二次救急医療体制を堅持しながら、地域に皆様が安心して暮らせるための急性期医療の提供と近隣医療機関や介護施設との連携また機能分担する地域包括ケアシステムの中核としての役割を果たして参ります。さらに近年、国内での地震や異常気象による災害が頻発しており、長野県でも水害は毎年のように起きています。これら水害や土砂災害、火災などに対応するBCPの作成とその訓練を行い災害に対応できる病院も目指しています。

今後も、地域の皆様に信頼され必要とされる病院を目指し、更なる改革や改善を行い職員一同精進する所存でございます。これまでも増して医師会、飯山市や近隣市町村の皆様からご指導、ご支援をお願い申し上げます。



飯山赤十字病院

院長 岩澤 幹直



# 病院概要



名称：飯山赤十字病院  
 所在地：飯山市大字飯山226番地1  
 開設者：日本赤十字社社長 清家 篤  
 院長：岩澤 幹直  
 診療科目：内科、消化器科、呼吸器科、循環器内科、小児科、精神科、心療内科  
 脳神経内科、外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、産婦人科、眼科  
 耳鼻咽喉科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、救急科  
 放射線科、リハビリテーション科  
 許可病床数：288床（一般病床244床、医療療養病床44床）  
 駐車台数：240台  
 敷地面積：22,618.00平方メートル  
 建物面積：6,543.42平方メートル  
 延床面積：18,872.62平方メートル  
 構造：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造  
 階数：地上5階建  
 最高の高さ：29.55メートル  
 付属設備：飯山赤十字訪問看護ステーション  
 通所リハビリテーション（ふきのとう）

## 案内図



Floor. 5

○機械室

Floor. 4

○地域包括ケア病棟 ○医療療養病棟

Floor. 3

○地域包括ケア病棟 ○回復期リハビリテーション病棟  
○診療情報管理室 ○会議室 ○外来化学療法室

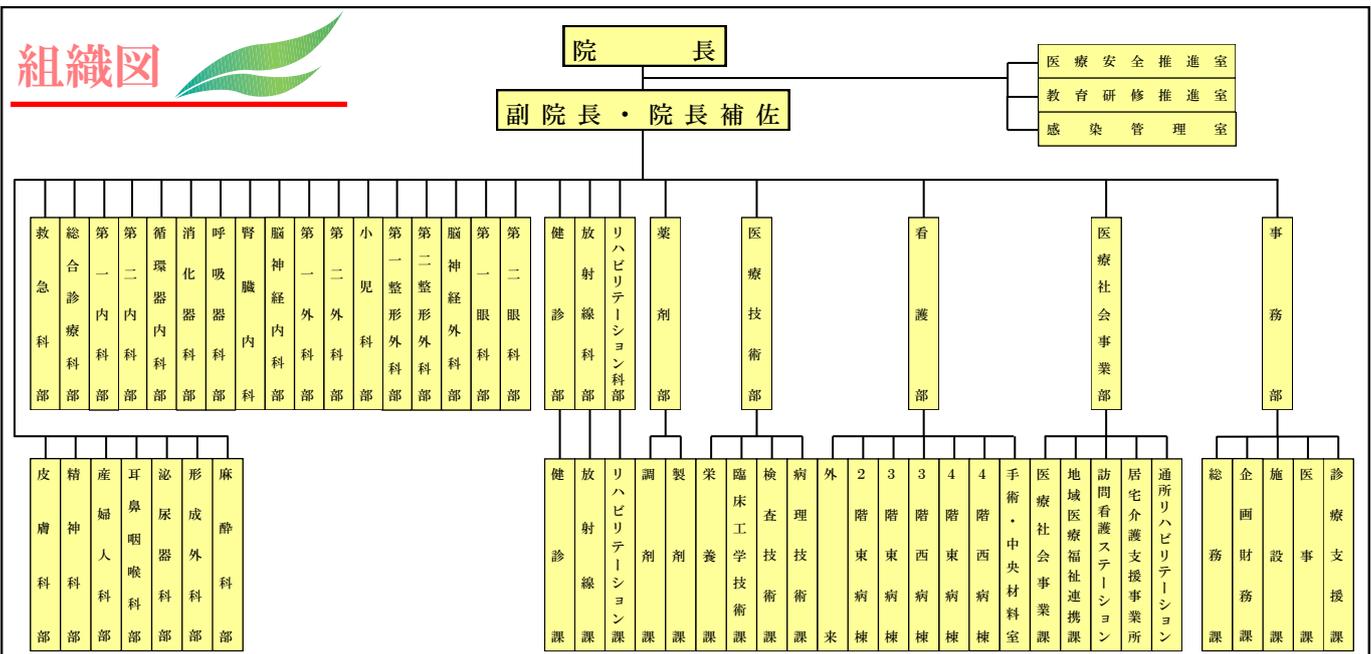
Floor. 2

○急性期病棟 ○手術室 ○中央材料室 ○透析室  
○通所リハビリテーション「ふきのとう」 ○医局 ○院長室 ○副院長室  
○事務部長室 ○看護部長室 ○事務室 ○システム管理室 ○会議室

Floor. 1

○各科外来診療 ○医療技術部（検査課・栄養課） ○放射線科 ○薬剤部 ○内視鏡室  
○救急センター ○事務室 ○地域医療福祉連携課 ○医療社会事業部 ○売店・レストラン  
○訪問看護ステーション ○リハビリテーション科 ○健診部 ○教室

## 組織図



## 指定・認定状況



- ・ 保険医療機関
- ・ 生活保護法指定医療機関
- ・ 救急告示病院
- ・ 原子爆弾被爆者援護法指定医療機関
- ・ 児童福祉法指定医療機関
- ・ へき地医療拠点病院
- ・ 指定自立支援医療機関
- ・ 中国残留邦人等支援法指定医療機関
- ・ 結核予防法指定医療機関
- ・ 労働者災害補償保険指定医療機関
- ・ 身体障害者福祉法指定医療機関
- ・ 性病予防法指定医療機関
- ・ 第二次救急医療機関
- ・ 臨床研修指定病院
- ・ 戦傷病者特別救護法指定医療機関

## 学会認定状況

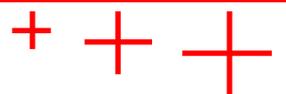


- ・ 日本消化器病学会関連施設
- ・ 日本内科学会教育関連病院
- ・ 日本外科学会専門医制度関連施設
- ・ 日本整形外科学会専門医研修施設
- ・ 日本がん治療認定医機構がん治療認定医認定研修施設
- ・ 日本胆道学会指導施設
- ・ 日本脳ドック学会認定施設
- ・ 日本脳卒中学会学会研修教育施設
- ・ 日本医療薬学会地域薬学ケア専門薬剤師研修施設
- ・ 日本乳がん検診精度管理中央機構マンモグラフィ検診施設
- ・ 日本消化器内視鏡学会指導連携施設
- ・ 日本消化器外科学会関連・特別関連施設
- ・ 日本眼科学会専門医制度研修施設
- ・ 日本臨床細胞学会施設認定
- ・ 日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・ 日本脳神経外科学会研修関連施設
- ・ 日本脳卒中学会一次脳卒中センター
- ・ 日本緩和医療薬学会緩和医療専門薬剤師研修施設
- ・ 日本麻酔科学会認定施設
- ・ 日本皮膚科学会乾癬分子標的薬使用承認施設

## 沿革



昭和28年12月	日本赤十字社長野県支部飯山赤十字病院開設 病床数77床（一般52床・伝染25床） 診療科 内科、外科、産婦人科	平成15年4月	脳神経内科開設 循環器内科開設
昭和30年8月	結核病棟新築30床（一般52床・結核30床・伝染25床）	平成15年12月	救護員住宅新築
昭和31年10月	耳鼻咽喉科開設	平成17年8月	病院機能評価認定（一般Ver4.0）
昭和40年3月	一般病棟増築50床（一般102床・結核30床・伝染25床）	平成18年7月	消化器科開設 心療内科開設
昭和40年5月	整形外科、理学診療科開設	平成19年7月	院外処方開始
昭和41年3月	伝染病棟新築5床（一般102床・結核30床・伝染30床）	平成21年4月	DPC（診断群別定額払い方式）届出
昭和47年6月	脳神経外科開設	平成21年6月	看護配置7：1の施設基準届出
昭和48年5月	救急告示病院承認	平成22年10月	病院機能評価認定（一般・ver6.0）
昭和48年5月	一般病棟新築20床（一般122床・結核30床・伝染30床）	平成23年4月	脳血管疾患リハビリテーション料Ⅱ届出
昭和48年10月	皮膚科開設	平成24年4月	外来リハビリテーション診療料届出
昭和56年3月	一般病棟新築50床（一般172床・結核30床・伝染30床）	平成25年1月	脳血管疾患リハビリテーション料Ⅰ届出
昭和57年4月	小児科開設	平成26年6月	地域包括ケア病棟開設（4東病棟） 総合評価加算届出
昭和58年4月	眼科開設	平成27年6月	医療療養病棟開設（4西病棟）
昭和61年7月	人工透析開始	平成28年9月	消化器センター開設
昭和61年9月	一般病棟改築22床（一般224床・伝染30床）	平成29年7月	地域包括ケア病棟開設（3東病棟）
昭和63年4月	泌尿器科開設	平成30年6月	救急科開設
平成元年4月	精神科開設	平成31年4月	居宅介護事業所開設
平成4年1月	一般病床16床増床（一般240床・伝染30床）	令和2年12月	一般病床4床増床 （一般244床・療養44床）
平成4年4月	へき地中核病院に指定 放射線科開設	令和2年10月	新型コロナウイルス感染症重点医療機関
平成5年4月	形成外科開設		
平成7年8月	新病院全面移転新築工事完了（一般300床）		
平成12年11月	訪問看護ステーション開設		
平成13年4月	呼吸器科開設		
平成15年3月	総合リハビリテーションA施設、言語聴覚療法（Ⅱ）		
平成15年4月	増改築工事完了（一般300床）		
平成15年5月	通所リハビリテーション「ふきのとう」開設		
平成15年6月	回復期リハビリテーション病棟開設（3西病棟） 麻酔科開設		





## 1. 概要

外来診療においては各種健診異常や高血圧・糖尿病・脂質異常症などの生活習慣病、その他慢性疾患などかかりつけ医の役割も担いつつ、幅広く内科疾患の診療を行っております。また、入院診療においては肺炎・胃腸炎・尿路感染症など各種感染症、胃潰瘍や胆石・総胆管結石などの消化器疾患、心不全や血栓症などの循環器疾患、悪性腫瘍、摂食障害、廃用症候群など総合的な診療体制を整えております。

外来・入院診療いずれにおいても、地域の中核病院として周辺施設や各科専門医と連携を取りつつ、急性期～慢性期にかけて一貫した診療ができる体制を整えております。とくに、全国的に問題となっている高齢者診療についても、背景の疾患や認知機能、日常生活動作、家族の支援体制も様々であることから、多様性に柔軟に対応できる多職種チーム医療を充実させ、包括的かつ効果的な診療を提供し、病状の改善や安定化を図っております。

2020(令和2)年に入ってからにはコロナ禍の影響もあり、外来および入院患者数は減少傾向を示しておりましたが、2021(令和3)年、2022(令和4)年度と少しずつ患者数も回復しつつあります。しかし内科診療においては今後の感染状況を慎重に見きわめつつ、さらなる発展を目指して、皆様のご協力のもと地域医療の充実・安定化に向けて尽力して参りたい所存でございます。引き続き何卒ご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## 2. 医師紹介



・山谷 秀喜  
腎臓内科部長(兼)

日本透析医学会透析専門医  
日本内科学会認定内科医



・齋藤 俊信  
第一内科部長

日本循環器学会循環器専門医  
日本内科学会総合内科専門医



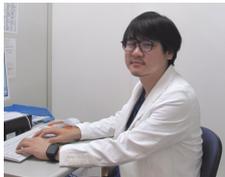
・渡邊 貴之  
総合内科部長(兼)

日本内科学会総合内科専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本膵臓学会認定指導医  
日本胆道学会認定指導医



・富田 俊明

日本内科学会認定内科医



・花岡 辰行

日本内科学会認定内科医



・古川 賢一

日本内科学会認定内科医  
日本医師会認定産業医

#### 非常勤医師

- ・伊澤 淳 ・長澤 武志 ・高原 照美 ・植田 優子 ・野村 匡晃 ・竹中 一弘
- ・山田 重徳 ・関口 智裕 ・上條 浩司 ・久保田 大輔 ・小林 聡 ・馬場 幸恵
- ・中野 直人 ・宮坂 麻由子 ・横山 正男

#### 3. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
554人	22,597人	1,769人	24,516人

## 呼吸器科 *Respiratory*



#### 1. 概要

##### (診療科紹介)

呼吸器感染症(肺炎、非結核性抗酸菌症等)、肺癌、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患(COPD)、間質性肺炎など呼吸器疾患全般の診療を行っております。また、健康診断等でレントゲンや肺機能の異常を指摘された方の精査や、気管支鏡検査なども行っております。

##### (診療方針・理念)

診断・治療においてはエビデンスやガイドラインに基づき、患者さんに十分な説明を行い、合意を得て(インフォームドコンセント)医療を提供する様にしております。

また、特殊な検査や呼吸器外科等での治療が必要な時などは、他の医療機関へ紹介するなど専門性のある診療を目指しています。

#### 2. 医師紹介



・熊部 智章  
呼吸器科部長

日本呼吸器学会呼吸器専門医  
日本内科学会認定内科医・総合内科専門医  
インфекションコントロールドクター(ICD)

#### 非常勤医師

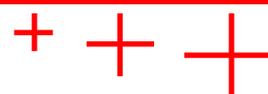
- ・安尾 将法

#### 3. 診療責任体制

常勤医師1名、非常勤医師1名の2名で外来診療にあたり、必要な際は当科での入院加療も行っております。

#### 4. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
171人	4,587人	1,551人	6,762人





### 1. 概要

消化器科では食道や胃、大腸といった消化管の疾患から肝胆膵と呼ばれる肝臓や膵臓、胆道胆嚢・胆管の疾患まで幅広く診療しています。代表的な消化管の疾患としてはヘリコバクター・ピロリ菌による慢性胃炎や胃十二指腸潰瘍、逆流性食道炎、機能性胃腸症、食道癌、胃癌、大腸癌などがあります。肝胆膵の疾患としては脂肪肝やアルコール性肝硬変、ウイルス性肝炎、膵炎、胆石による急性胆嚢炎や急性胆管炎、肝癌、膵癌、胆嚢癌・胆管癌などがあります。食道癌や胃癌、大腸癌は早期の状態であれば内視鏡的切除で完治できる可能性が高く、積極的に治療を行うようにしています。膵癌や胆嚢癌・胆管癌では令和3年度に超音波内視鏡を導入し疾患の早期発見に努めています。また令和3年度には消化器科の常勤医が2名となり、少しずつではありますが消化管出血への内視鏡的止血術や急性胆管炎に対する内視鏡的胆道ドレナージ術などの緊急内視鏡にも対応しています。

### 2. 医師紹介



・渡邊 貴之  
消化器科部長

日本内科学会総合内科専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本膵臓学会認定指導医  
日本胆道学会認定指導医



・花岡 辰行  
消化器科副部長

日本内科学会認定内科医

#### 非常勤医師

・高原 照美 ・植田 優子

### 3. 診療責任体制

2名の消化器科常勤医師で入院診療を担当し、外来診療にあたっては非常勤医師2名とともに火～金曜日の消化器科外来を担当しています。

### 4. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
365人	8,487人	531人	4,704人

## 消化器センター

### 1. 概要

胃癌などの消化器疾患において、内科医、外科医、その他のスタッフを含めたチームにより、外来から入院まで一貫した診療と、シームレスに継続した看護・ケアを行います。病状によっては当院を通じて最先端の医療を受けられる施設へのご紹介もいたします。また、予防医学の観点から市民公開講座の開催等により地域住民皆様の消化器癌に対する理解を深めていただけるよう富山大学地域がん予防医療推進医学講座と協力して事業を実施しています。

### 2. 医師紹介

・渡邊 貴之 消化器センター長(兼)

日本内科学会総合内科専門医・指導医  
日本消化器病学会専門医・指導医  
日本消化器内視鏡学会専門医・指導医  
日本膵臓学会認定指導医  
日本胆道学会認定指導医

・花岡 辰行 消化器科副部長

日本内科学会認定内科医

- ・柴田 均 第一外科部長 日本外科学会専門医
- ・中村 学 外科医師 日本消化器外科学会認定医
- ・石坂 直毅 外科医師 日本消化器外科学会認定医  
日本消化器内視鏡学会専門医

非常勤医師

- ・高原 照美 ・植田 優子 ・野村 匡晃 ・山田 重徳 ・竹中 一弘 ・小松 裕

3. 診療責任体制

センター長(兼)	渡邊 貴之	常勤医師	5名(内科：2、外科：3)
副センター長(兼)	松浦 博之	非常勤医師	6名(内科)
		運営委員	6名
		他	内視鏡検査室スタッフ

4. 施設認定

- 日本消化器病学会関連・特別関連施設
- 日本胆道学会指導施設
- 日本消化器内視鏡学会指導連携施設

5. 診療実績

1) 飯山市ピロリ菌抗体検査補助事業

	<検査材料>	<件数>
	血液	7
・抗体検査	尿	0
	合計	7
・抗体陽性の内視鏡検査実施		2

2) 内視鏡検査件数

<治療・処置・検査>	<2022年度>	<2021年度>	<治療・処置・検査>	<2022年度>	<2021年度>
・上部消化管内視鏡	2,624	2,750	・食道狭窄拡張(バルーン)	0	0
・上部消化管(胃瘻交換)	93	106	・下部消化管内視鏡	341	363
・胃瘻造設術	14	20	・下部狭窄拡張術	2	0
・食道狭窄拡張術	8	0	・下部ステント留置術	7	9
・食道ステント留置術	3	2	・下部異物除去術	4	0
・胃十二指腸ステント留置術	3	9	・下部イレウス管挿入術	2	1
・食・胃静脈瘤結紮術	3	4	・内視鏡的消化管止血術	7	6
・食・胃静脈瘤硬化療法	2	3	・下部マーキング	6	0
・内視鏡的上部消化管止血術	22	7	・下部ポリペク	85	80
・上部イレウス管挿入術	6	10	・下部EMR	100	82
・食道ESD	4	0	・下部ESD	6	8
・上部マーキング	1	0	・気管支鏡	9	9
・上部消化管EUS 観察	25	10	・気管支異物除去術	0	1
・上部EUS-FNA	10	11	・ERCP	107	89
・内視鏡的胃内異物摘出	3	5	・ERCP 金属ステント留置術	3	0
・内視鏡的食道異物摘出	2	0	・ERBD	58	48
・胃EMR	4	3	・ENBD	6	4
・胃ESD	19	15	・乳頭拡張術	50	0
・十二指腸EMR	1	1	・胆道拡張術	4	0
・NBI+ 拡大内視鏡	1	0	・結石除去術	37	11
			合計	3,682	3,667



# 循環器内科 *Cardiovascular medicine*



## 1. 概要

2019(平成31)年4月より常勤医による診療が加わり、今までの非常勤医の診療に加え、平日の循環器内科外来診療は毎日可能となりました。さらに循環器診療に重要な採血・尿検査、心電図、心エコー、レントゲン検査などに加え、2019(令和元)年6月からは心臓CTの導入も行われ、2020年(令和2年)からは経食道心エコーも導入され、循環器疾患に対する診療がますます充実してきております。

実際の診療につきましては、心不全、虚血性心疾患、不整脈、心筋症、弁膜症、先天性心疾患など幅広く循環器一般診療を行いつつ、急性期および慢性期の病態に対応しております。一方で、心臓カテーテルや永久ペースメーカー、心臓手術など侵襲的かつ専門的治療に関しては近隣の高度先進医療施設へ治療をご依頼させて頂くなどの連携をとっております。今後も地域医療の充実・安定化に向けて尽力して参りたいと思っております。

## 2. 医師紹介



・齋藤 俊信  
循環器内科部長(兼)

日本循環器学会循環器専門医  
日本内科学会総合内科専門医

### 非常勤医師

・伊澤 淳

## 3. 診療責任体制

外来診療日は齋藤(月・火・水・金曜日)、非常勤医師(木曜日・一部金曜日)の2名で行っていません。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
182人	6,787人	193人	3,725人

# 小児科 *Pediatrics*



## 1. 概要

新生児から中学3年生までの小児の内科的疾患の診療に当たっています。飯山地区唯一の小児科専門施設であり、小児医療全般の一次・二次診療を行っていますが、平成19年度より医師一人体制のため、救急診療が制限されております。

## 2. 医師紹介



・神田 仁

日本小児科学会認定小児科専門医

## 3. 診療実績(令和4年度)

〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
892人	1,538人





## 1. 概要

岳北地区の中核病院として消化器、内分泌(甲状腺・乳腺)の各専門外科領域のほか、一般外科、救急医療を含めた外科全般にわたり診療に当たっており、救急疾患に対しても24時間体制で対応している。

プライバシーの尊重、説明と同意(インフォームドコンセント)の励行、救急医療の重視、地域密着型医療、高齢社会に即した医療・保健・福祉活動を行い、患者さんに信頼される安全で質の高い医療を行うよう努めることを診療の基本方針としている。また、日本赤十字社の使命である災害救護をはじめ保健衛生など社会活動にも積極的にかかわるようにしている。

治療を行う際には可能な限り最新医療技術の導入を図る一方で、各疾患の診療ガイドラインに沿って標準的な治療を行うことを心がけている。平成23年からは腹腔鏡下手術を取り入れて、患者さんに対する手術侵襲をできるだけ軽減するよう努めている。加えて、コメディカルスタッフ、事務系職員とも密に連携したチーム医療を行うことにより、患者さんに満足していただけるよう、また、病診連携を密にして地域住民のQOL(生活の質)の向上に貢献することを目指している。

以上の目標を達成するため、日々自己研鑽に励むとともに、学会活動を通じても医療の発展に寄与できるよう努力している。

## 2. 医師紹介



・柴田 均  
第一外科部長

日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会認定医

・小林 亮一郎  
・中村 学

日本外科学会専門医  
日本消化器外科学会認定医  
日本消化器内視鏡学会認定医

### 非常勤医師

・伊藤 研一 ・清水 忠史

## 3. 診療責任体制

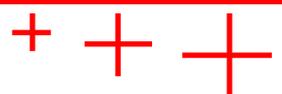
主治医制をとり、専門領域別に診療を行っている。消化器外科・一般外科は柴田、中村、石坂が担当している。

乳腺・甲状腺外科の専門外来は、非常勤医師による診療を行っている。

拘束制により、時間外の救急患者や主治医不在時の入院患者の診療には拘束医師が対応している。研修医・専攻医は指導医のもとに研修・教育を受けている。

## 4. 診療実績(令和4年度)

	〈入院新患者数〉 211人	〈入院患者延人数〉 3,995人	〈外来新患者数〉 696人	〈外来患者延人数〉 5,892人
消化器の手術件数		〈開腹手術〉	〈腹腔鏡手術〉	〈合計〉
・胃癌		4	2	6
・結腸、直腸癌		5	5	10
・胃良性疾患		1	0	1
・虫垂炎		0	9	9
・腸閉塞		1	0	1
・肛門		4	0	4
・胆嚢結石、胆嚢ポリープ		2	7	9
・ヘルニア		7	22	29
・CVポート他		4	0	4
		28	45	73



5. 手術実績 (令和4年度)		<外来件数><入院件数>		<外来件数><入院件数>	
・創傷処理	134	1	・腹腔鏡下ヘルニア手術 (閉鎖孔)	0	2
・皮膚切開	29	2	・腹腔鏡下胃切除術 (悪性腫瘍)	0	2
・ヘルニア手術 (鼠径ヘルニア)	0	23	・腹腔鏡下胃切除術 (単純)	0	1
・ヘルニア手術 (大腿ヘルニア)	0	3	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	0	4
・ヘルニア手術 (白線ヘルニア)	0	1	・腹腔鏡下結腸切除術 (小範囲切除、結腸半側切除)	0	1
・胃切除術 (悪性腫瘍)	0	1	・腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術 (両側)	0	19
・胃全摘術 (悪性腫瘍)	0	1	・腹腔鏡下胆嚢摘出術	0	9
・胸水・腹水濾過濃縮再静注法	0	1	・腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴うもの)	0	3
・筋肉内異物摘出術	1	0	・腹腔鏡下虫垂切除術 (虫垂周囲膿瘍を伴わないもの)	0	9
・結腸切除術 (悪性腫瘍手術)	0	4	・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (切除術)	0	2
・結腸切除術 (小範囲切除)	0	2	・腹腔鏡下直腸切除・切断術 (低位前方切除術)	0	4
・植込型カテーテル設置 (抗悪性)	0	7	・腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	0	1
・人工肛門造設術	0	3	・肛門周囲膿瘍切開術	4	0
・胆嚢外嚢造設術	0	2	合計	168	120
・胆嚢摘出術	0	4			
・植込型カテーテル設置 (中心静)	0	4			
・腸閉塞症手術 (小腸切除)	0	1			
・腸嚢造設術	0	2			
・皮下腫瘍摘出術 (露出部以外)	0	1			

# 整形外科 *Orthopedics*



## 1. 概要

種々の外傷、交通外傷、変形性関節症、脊椎疾患、関節リウマチ等の幅広い疾患に取り組み、苦痛やストレスのないQOL向上に向けてサポートをするのが我々整形外科の仕事であると考えています。

また、リハビリテーション科(部)が併設されており手術後(変形性膝関節症の方の人工関節置換術、各種骨折の手術など)の患者さんの早期の日常生活復帰を目指し筋力訓練、歩行訓練を行う事ができ、また手術を受けられない方でも必要に応じて理学療法、作業療法などのリハビリを行ってもらうようにしています。

## 2. 医師紹介



・若宮 一宏  
第一整形外科部長(兼)

日本整形外科学会専門医  
日本整形外科学会リウマチ医  
日本整形外科学会脊椎脊髄医  
日本リウマチ学会専門医  
日本リハビリテーション医学会臨床認定医  
日本スポーツ協会スポーツドクター  
日本医師会認定産業医  
義肢装具判定医  
長野県スポーツドクター協議会副会長  
長野県スポーツ協会評議員

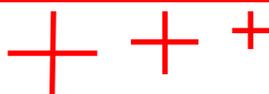


・中西 芳広  
第二整形外科部長

日本整形外科学会専門医

非常勤医師

・安田 剛敏 ・鈴木 賀代 ・関 英子



### 3. 診療責任体制

入院は主治医制で診療を行っていますが、病棟担当の医師が患者の回診を行っており、それぞれの医師が全患者を把握するように努めています。救急患者に対しては科による拘束体制で対応しておりますが、二人体制につき種々の制限でご迷惑をおかけしております。

### 4. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
289人	17,734人	1,099人	15,435人

### 5. 手術実績(令和4年度) <外来件数><入院件数>

	<外来件数>	<入院件数>		<外来件数>	<入院件数>
・アキレス腱断裂手術	0	2	・骨折経皮的鋼線刺入固定術(足)	2	5
・黄色靭帯骨化症手術	0	1	・骨折非観血的整復術(鎖骨)	8	0
・観血的関節固定術(指・手)	0	1	・骨折非観血的整復術(上腕)	6	1
・関節脱臼非観血的整復術(肩)	1	1	・骨折非観血的整復術(前腕)	2	1
・関節脱臼非観血的整復術(股)	1	0	・骨折非観血的整復術(足, その他)	1	0
・関節脱臼非観血的整復術(指手)	3	0	・骨内異物(挿入物)除去術(下腿)	0	1
・関節脱臼非観血的整復術(手)	1	0	・骨内異物(挿入物)除去術(鎖骨)	0	2
・関節脱臼非観血的整復術(肘)	1	0	・骨内異物(挿入物)除去術(上腕)	0	1
・関節内骨折観血的手術(手)	0	2	・骨内異物(挿入物)除去術(足)	1	0
・関節内骨折観血的手術(足)	0	1	・骨内異物(挿入物)除去術(膝蓋)	0	1
・骨折観血的手術(下腿)	0	5	・脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(後方椎体固定)	0	4
・骨折観血的手術(鎖骨)	0	4	・脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓形成)	0	3
・骨折観血的手術(上腕)	0	3	・脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術(椎弓切除)	0	6
・骨折観血的手術(前腕)	0	12	・椎間板摘出術(後方摘出術)	0	4
・骨折観血的手術(足)	0	5	・皮下腫瘍摘出術(露出部)	1	0
・骨折観血的手術(大腿)	0	22	・皮下腫瘍摘出術(露出部以外)	2	0
・骨折観血的手術(膝蓋骨)	0	1	・皮膚切開	1	1
・骨折経皮的鋼線刺入固定術(手)	2	1	・腱鞘切開術	21	0
・手根管開放手術	2	5			
・人工関節置換術(膝)	0	18	合計	64	125
・人工骨頭挿入術(股)	0	8			
・創傷処理	8	3			

## 脳神経外科 *Neurosurgery*

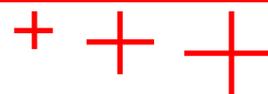


### 1. 概要

昭和47年6月に開設、脳神経外科疾患の手術、治療に対応しています。取り扱う疾患は脳血管障害(脳梗塞、脳出血、くも膜下出血)、脳腫瘍、頭部外傷、頭痛など脳神経外科全般です。脳神経内科、耳鼻咽喉科の常勤医師がいないため、めまい、不随意運動などの初期治療にも対応しています。

脳卒中においては、日本脳卒中学会の一次脳卒中センター(Primary Stroke Center, PSC)認定施設として、急性期治療から回復期リハビリテーションまで途切れのないシームレスな治療を提供しています。また、岳北消防本部とも密に連携し、地域の脳卒中についての啓発活動、治療体制の充実に努めています。外科治療では、神経内視鏡を駆使し、可能な限り負担の少ない低侵襲な方法で行います。脳卒中後の痙性に対してはボトックス治療も提供しています。その他、眼瞼痙攣、片側顔面痙攣に対してもボトックス治療を提供しています。また、専門外来として、月曜日午前、火曜日午後、金曜日午前に頭痛外来を設置しています。適切な頭痛診断に基づき、頭痛の予防方法や対処法などをお伝えしています。予防医療では、日本脳ドック学会認定施設として脳ドックを提供しています。

当院では高性能のCT、MRIが稼働しており、それらを駆使し、迅速な診断を提供し、適切な地域医療を提供すべく努力していますが、放射線治療と脳血管内手術の設備が整っていないため、必要な場合は速やかに近隣の連携施設へ紹介しています。



## 2. 医師紹介



・ 兒玉 邦彦  
脳神経外科部長

日本脳神経外科学会専門医・指導医  
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医  
日本脳卒中の外科学会技術指導医  
3学会承認脳血栓回収療法実施医  
日本神経内視鏡学会神経内視鏡技術認定医  
日本頭痛学会頭痛専門医  
日本がん治療認定医機構がん治療認定医  
日本臨床神経生理学会専門医(術中脳脊髄モニタリング分野)  
日本内分泌学会内分泌代謝科(脳神経外科)専門医  
日本医療メディエーター協会認定 医療メディエーターB  
日本脳神経外科学会、日本脳卒中学会、日本脳神経血管内治療学会

### 非常勤医師

・ 原田 博

## 3. 診療責任体制

部長を主治医としています。非常勤医師も含めて月・火・水・金曜日に一般外来診療、月曜日午前、火曜日午後・金曜日午前に頭痛外来を行っています。脳卒中や外傷など救急疾患には随時対応しています。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
228人	9,347人	412人	4,983人

## 5. 手術実績(令和4年度)

	〈外来件数〉	〈入院件数〉
・ 創傷処理(筋肉、臓器に達しないもの・長径5cm以上10cm未満)	44	11
・ 創傷処理(筋肉、臓器に達するもの・長径5cm以上10cm未満)	10	7
・ 内視鏡下脳内血腫除去術	0	1
・ 皮下血管腫摘出術(露出部・長径3cm以上6cm未満)	0	1
・ 慢性硬膜下血腫穿孔洗浄術	0	16
合計	54	36

# 産婦人科 *Obstetrics & Gynecology*



## 1. 概要

当院産婦人科は飯水地区唯一の産婦人科であり、婦人科全般の健診・診療を行っています。平成28年4月より非常勤医師での診療となったため出産、入院手術等はできません。

## 2. 医師紹介

### 非常勤医師

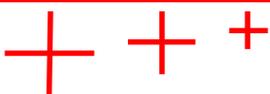
・ 増田 聡美 ・ 杉山 結理佳 ・ 野池 雅実

## 3. 診療責任体制

火曜日～木曜日に派遣医師により一般婦人科健診、婦人科疾患の診察及び治療、32週までの妊婦健診を行っています。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈外来新患者数〉	103人	〈外来患者延人数〉	1,056人
----------	------	-----------	--------



# 皮膚科 *Dermatology*



## 1. 概要

常勤医師1名と非常勤医師1名で診療にあたっています。

平日が診療日となっており、完全予約制です。近隣に皮膚科開業医がないため、幅広い皮膚疾患に対応します。自費診療として、円形脱毛症に対するSADBEを用いた局所免疫療法と、巻き爪に対するワイヤー治療を行っています。日本皮膚科学会の生物学的製剤使用承認施設になります。

入院診療は行っていません。入院が必要な場合は他科と連携して診療を検討します。また、専門的な入院治療が必要な場合は近隣の病院に紹介します。

## 2. 医師紹介



・大澤 香奈

非常勤医師

・境澤 香里

## 3. 診療責任体制

飯水地区で唯一の皮膚科専門医です。常勤医師1名と非常勤医師1名により毎週月～金曜に外来診療を行っています。入院治療が必要な場合は救急科・内科・外科と連携し対応しています。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈外来新患者数〉 〈外来患者延人数〉  
1,382人 8,430人

# 泌尿器科 *Urology*



## 1. 概要

毎週月曜日・水曜日に、非常勤医師による外来診療を行っています。

常勤医師はいませんが、登録医である「いいやま診療所」の濱田隆正医師と当院の外科医により、開放病床(オープンベッド)を利用して同診療所の患者さんの検査および手術の入院診療も行います。

## 2. 医師紹介

非常勤医師

・濱田 隆正 ・小川 輝之 ・石塚 修

## 3. 診療責任体制

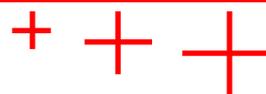
外来は非常勤の担当医が初診および定期的な経過観察を行っています。

当院の外来で対応できない専門的な診療や手術が必要な場合には、いいやま診療所または近隣の病院に紹介します。

いいやま診療所の患者さんが入院した場合には、当院の外科医が主治医となり、同診療所の濱田医師と協力して入院診療を行います。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈外来新患者数〉 〈外来患者延人数〉  
63人 1,455人





## 1. 概要

常勤医師2名、視能訓練士2名を含む7名のスタッフにて、眼科疾患全般の診療にあたっている。白内障に対する水晶体再建術、網膜硝子体疾患に対する硝子体手術、緑内障に対する線維柱帯切除術・線維柱帯切開術、眼瞼疾患(眼瞼下垂・眼瞼内反症・眼瞼皮膚弛緩症など)の手術、前眼部疾患の手術、レーザー機器による手術などを行っています。

## 2. 医師紹介



・長谷川 敦俊  
第一眼科部長

日本眼科学会専門医



・中村 恵子  
第二眼科部長

日本眼科学会専門医

### 非常勤医師

- ・京本 敏行

## 3. 診療責任体制

眼科部長が中心となり、スタッフとのディスカッションのもと最善の診療に努めている。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈入院新患者数〉	〈入院患者延人数〉	〈外来新患者数〉	〈外来患者延人数〉
247人	885人	324人	5,572人

## 5. 手術実績(令和4年度)

	〈外来件数〉〈入院件数〉		〈外来件数〉〈入院件数〉	
・マイボーム腺梗塞摘出術	2	0	・後発白内障手術	21 0
・角膜・強膜異物除去術	3	0	・硝子体茎頭微鏡下離断術	0 16
・角膜潰瘍搔爬術	8	2	・硝子体置換術	0 1
・眼瞼下垂症手術(眼瞼挙筋前転法)	1	0	・水晶体再建術	28 239
・眼瞼内反症手術	4	0	・虹彩整復・瞳孔形成術	1 0
・眼瞼膿瘍切開術	1	0	・麦粒腫切開術	3 0
・結膜下異物除去術	2	0	・網膜光凝固術	10 0
・結膜結石除去術(少数のもの)(1眼瞼ごと)	3	0	・翼状片手術(弁の移植を要するもの)	9 0
・結膜腫瘍摘出術	1	0	・緑内障手術	1 4
・結膜肉芽腫摘除術	1	0	・涙点プラグ挿入術、涙点閉鎖術	2 0
・結膜縫合術	2	0	・瞼縁縫合術(瞼板縫合術を含む)	1 0
			合計	104 262

# 救急科 *Emergency department*



## 1. 概要

救急医療は医の原点とも言われ、突然生じる病気や怪我に対応する医療です。厚生労働省では、患者さんの病気や怪我の重さの程度で受診する医療機関を軽症から重症へと一次救急、二次救急、三次救急と分類しています。患者さんにとっては、痛い辛い困った状態が生じれば全て救急です。そこで、対応できる医療機関を選定する必要があります。当院は一次救急、二次救急を担当している第二次救急医療機関です。自力で動ける方や同伴者に付き添われて受診される方は一次救急として、平日は各科外来への振分け後受診や救急外来 (ER) 受診をしていただき外来で治療が完了します。直接来院された方や救急搬送された方のうち入院が必要な状態の方は二次救急として入院加療します。さらに高度な医療を必要とする際は三次救急へご紹介します。

## 2. 医師紹介



・山川 耕司  
救急科部長

日本救急医学会専門医  
日本プライマリ・ケア連合学会指導医  
労働衛生コンサルタント  
日本医師会認定産業医

## 3. 診療責任体制

救急医療では、院内の各科との連携が重要であり、必要があれば院外との連携も行います。まずは、外来診察で初期診療を開始し、必要に応じて治療を加え、さらに必要があれば入院治療を行います。

## 4. 診療内容・対象疾患

高齢者救急をはじめ、地域で発生する救急患者の初期診療と入院治療を担っております。

# 耳鼻咽喉科 *Otolaryngology*



## 1. 概要

毎週火曜日と金曜日に、非常勤医師による診療を行っています。(受付・診療共に午後からになります。)

## 2. 医師紹介

非常勤医師

・工 穰 ・横田 陽 ・岩佐 陽一郎

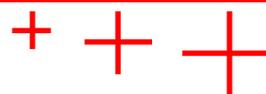
## 3. 診療責任体制

非常勤医師による外来診療だけのため、専門的な治療や入院が必要な場合には常勤の耳鼻咽喉科医がいる近隣の病院に紹介しますが、軽症の疾患は当院で入院診療を行うこともあります。

## 4. 診療実績(令和4年度)

〈外来新患者数〉 303人

〈外来患者延人数〉 2,163人



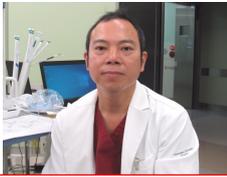
# 麻酔科 *Anesthesia*



## 1. 概要

手術時の全身麻酔を行っています。

## 2. 医師紹介



・松久 大希  
麻酔科部長

日本周術期経食道心エコー資格 (JB-POT)  
日本麻酔学会認定指導医  
心臓血管麻酔専門医  
麻酔科機構専門医

## 3. 診療内容・対象疾患

平日午後は毎日手術日になっており、全身麻酔の管理を中心に麻酔を担当しています。手術室は4部屋、全身麻酔器・患者監視装置も4台整備されております。

その他に、地域の救急救命士の気管挿管実習を指導させていただいております。

# 放射線科 *Radiology*



## 1. 概要

各種画像診断の検査と、放射線科医師による画像診断を行っており救急医療に対応するため24時間緊急検査に対応している。

一般撮影、骨密度、マンモグラフィ、CT、MRI、透視、血管撮影 (DSA) の医療機器を設置し、読影に際しては非常勤医師による読影の他、遠隔読影実施機関との連携により、遠隔画像診断を常時行える体制をとっている。

## 3. 基本方針

1. 飯山赤十字病院の理念に従い、診療放射線業務の遂行に努めます。
2. 放射線技術の研鑽に励み、成果を地域医療に還元します。
3. 医療事故を防止し、放射線の安全管理に努めます。
4. 「思いやりの心」を大切に、チーム医療を実践します。

## 2. 医師紹介

・中西 芳応 放射線科部長 (兼務)

## 3. 主な検査装置の紹介

● X線一般撮影装置	3台	● パントモ	1台
● X線CT装置 (ヘリカル)	1台	● 外科用イメージ装置	2台
● 血管撮影装置 (DSA)	1台	● 移動型X線撮影装置	2台
● MRI装置 (磁場強度1.5T)	1台	● FPDシステム	1式
● X線TV装置	2台	● 骨密度測定装置	1台
● 乳房撮影装置 (マンモグラフィ)	1台		



1.5テスラMRI



ヘリカルCT





### 1. 概要

当科は現在、理学療法士20名、作業療法士12名、言語聴覚士3名にて、病気やけが等での後遺障害によって日常生活に支障となる方々に対し、急性期・回復期・維持期の全てにおいて地域に根ざした一貫したリハビリテーションの提供をしています。

施設基準として運動器リハビリテーション料（Ⅰ）、脳血管疾患リハビリテーション料（Ⅰ）、呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）を取得しています。

理学療法部門では、機能回復を主とした基本的動作の獲得を、作業療法部門では、日常生活に合わせた応用的動作の獲得を中心に目指します。また、言語聴覚療法部門では、脳卒中などで生じた言語障害や嚥下障害に対する改善に取り組みます。

回復期リハビリテーション病棟入院患者さんに対しては、理学療法・作業療法において、必要に応じて複数回のリハビリテーションを実施しています。

地域包括ケア病棟や回復期リハビリテーション病棟、急性期病棟においても専従や専任の職員を配置することで、医師や看護師等との連携を取り合い、患者さんの状態や活動度に応じたリハビリテーションを展開しています。

### 2. 医師紹介

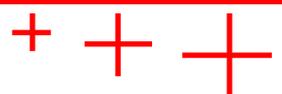
- ・若宮 一宏                      リハビリテーション科部長(兼務)

### 3. 主な対象

- 整形外科疾患に対するリハビリテーション
- 脳血管疾患・脳外傷等に対するリハビリテーション
- 内部障害に対するリハビリテーション
- 呼吸リハビリテーション
- アスレティックリハビリテーション
- 認知症の予防とケア
- 摂食・嚥下障害に対するリハビリテーション



リハビリテーション室





### 1. 概要

#### 【業務内容】

臨床検査：一般検査・血液学的検査・生化学的検査・免疫学的検査・微生物学的検査・生理学的検査超音波検査を行っています。血液検査、血液ガス等の緊急検査にも対応しています。また、超音波検査では循環器等、ほぼすべての領域に対応できるよう、診療装置やスタッフは充実しています。

輸血検査：輸血血液製剤管理および輸血検査業務を検査技術課で行い、輸血業務を一元化しています。

#### 【緊急検査の充実】

当直体制により365日24時間、救急医療に対応しています。

#### 【患者さんへのサービス】

一般検査・血液学的検査・生化学的検査・免疫学的検査はシステム化により、各診療科へ迅速かつ正確な検査データを提供しております。生理検査においても予約オーダーシステムを導入し、待ち時間の短縮を図っています。また、超音波検査は常時3台の診断装置を稼働させ、ほぼ全領域に対応しています。

#### 【診療支援】

糖尿病教室やNST、ICT、その他チーム医療に於いて検査課職員全員がプロ意識に徹し、積極的に診療支援に貢献しています。

#### 【医療事故防止】

検査業務全体のシステム化を図り、医療事故防止に努めています。特に輸血検査では一元管理体制を構築し、より安全な輸血血液製剤を提供しています。

### 2. 基本方針

飯山赤十字病院の基本理念に基づき、検査技術や知識向上に努め、患者さん中心の質の高い検査をめざします。

1. 患者さんから信頼される検査技術課を作る。
2. 内部・外部の制度管理に参加し、高い精度の検査を維持する。
3. 各種認定資格取得の支援をする。

### 3. 検査機器

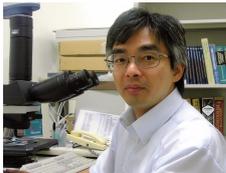
- 血糖分析装置(GA-09) 1台、HbA1c分析装置(HLC-723G9) 1台
- 全自動尿統合分析装置(Atellica1500) 1台
- 細菌全自動同定感受性迅速測定装置(Phenix M50) 1台
- 超音波診断装置(ARIETTA 750SE)(ARIETTA E70)(Affinity70G) 各1台
- 睡眠時無呼吸検査(ソムノスクリーンシステム) 1台
- 心電図計(ECG-1500)(CardiofaxV)(ECG-2450) 各1台
- 新生児聴力検査装置(アルゴ2eカラー) 1台
- 聴力検査装置(オーディオメータ AA-M1A)(RS-22) 各1台
- 自動血球分析装置(XT-1800i) 1台
- 生化学自動分析機(LABOSPECT006) 2台
- 便潜血検査装置(FOBIT WAKO) 1台
- 睡眠時無呼吸検査装置(LS-300) 1台
- 誘発電位検査装置(MEB-9404) 1台
- 採血管準備装置(BC-ROBO8000) 1台
- 血圧脈波検査装置(BP203RPEIII) 1台
- 血液ガス分析装置(RAPID Point500) 1台
- 脳波計(EEG-1214) 1台
- 自動血球分析装置(XE-5000) 1台
- 検体前処理機(LabFLEX) 1台
- 肺機能計(DISCOM-21 FXIII) 1台
- トレッドミル(STM-1250) 1台
- 輸血用検査装置(Auto Vue) 1台
- 血液凝固検査装置(CS2100i) 1台
- 血沈検査装置(ESR-quich15) 1台



## 1. 概要

癌や炎症などの様々な病気の治療方針を決める「病理診断」を行います。病理診断(病理検査)は質の高い医療を提供するためにはなくてはならない医療業務で、当科では非常勤病理医1名と、細胞検査士資格をもつ専門のスタッフ3名がこの業務にあたっています。患者さんの組織や細胞を採取し、主に組織診断、手術時の迅速診断、細胞診断といった検査と、死因を解明するための病理解剖等を行っています。病理診断は最終診断となることも多く、よりよい診療を行うために正確で迅速な病理診断が必要とされます。他の診療科の学会発表の援助や臨床病理検討会(Clinico-Pathological Conference)などのカンファレンスや症例検討にも活発に参加、協力しています。

## 2. 医師紹介



・中山 淳

死体解剖資格

日本病理学会認定病理医

日本臨床細胞学会認定細胞診指導医

日本臨床検査医学会認定臨床検査医

## 3. 検査機器

凍結標本作製装置	ティシュテック polarDM	1台
パラフィンブロック作製装置	ティシュー・ティック ディスペンシング・コンソールIV	1台
自動密閉固定包埋装置	VIP6 AI	1台
写真撮影装置	SL MPS II	1台
マイクローム	SAKURA IVS-400	1台

## 4. 施設認定等

日本臨床細胞学会施設認定

## 5. 当課の特徴

- ① 患者さんの診断精度向上のため、先生方をご提出いただきます検体はすべて日本病理学会認定の病理専門医により診断が行われます。
- ② 病理組織診断のため、必要に応じて特殊な検査(免疫染色・特殊染色等)を先生方の了解のもとで実施し、すみやかに報告いたします。
- ③ 診断困難な症例については、複数あるいは各臓器専門の病理専門医による意見を取り入れての正確な診断が可能です。
- ④ 症例報告の際には担当の病理専門医がご相談に応じます。
- ⑤ 必要に応じて術中迅速診断や迅速細胞診断にも対応致します。
- ⑥ 臨床の先生方と密接な関係をつくり、患者さんへのよりよいサービスを目指しています。
- ⑦ 報告書の内容等についての様々なお問い合わせやご相談に応じます。

### 【スタッフ】

- ・病理専門医(非常勤/月4回)
- ・細胞検査士(常勤)2名、国際細胞検査士1名



# 回復期リハビリテーション病棟 *Recovery Period Rehabilitation Ward*



## 1. 概要

- ・病床数 60 床
- ・主要疾患

肺炎等、腎臓又は尿路の感染症、慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全、敗血症、頻脈性不整脈、心不全、胸椎・腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む）、骨盤損傷、股関節・大腿近位の骨折、脳内出血、脳梗塞、慢性硬膜下血腫、その他の感染症（真菌を除く）COVID-19、リハビリテーション

## 2. 特徴

回復期リハビリテーション病棟では単に機能の回復を目指すのではなく、「寝たきりの防止」と「家庭復帰」、つまり「生活の質」を向上させることを大きな目標としております。

## 3. 寝たきり防止

リハビリテーションの時間のみ動き、あとはベッドで寝ているということではリハビリテーションの効果はあまりありません。朝から晩までの病棟生活をいかに活動的に過ごすかが鍵となります。回復期リハビリテーション病棟では、リハビリテーションの中で行う歩行や日常生活動作などを実際の生活の中で定着するよう援助し、寝たきり防止に努めております。

## 4. 家庭復帰

家庭復帰をはたすためには、実用歩行と日常生活動作の能力をどこまで高められるかがポイントです。障害の大きさに応じて、歩行・活動能力の限界はありますが、寝たきりを防止しながら、出来るだけ歩行・活動能力向上をはかり、必要に応じて退院前に住環境整備の提案をさせていただき、在宅生活にスムーズに移行するお手伝いをします。

# 地域包括ケア病棟 *Regional Comprehensive Care Ward*



## 1. 概要

- ・病床数 60 床
- ・主要疾患

肺炎等、心不全、腎臓又は尿路の感染症、悪性腫瘍（胃）（結腸（虫垂を含む））（膵臓）、弁膜症（連合弁膜症を含む）、ヘルニアの記載のない腸閉塞、胸椎・腰椎以下骨折損傷（胸・腰髄損傷を含む）、肩関節周辺の骨折・脱臼、股関節・大腿近位の骨折、脳梗塞、脳腫瘍、脳内出血、白内障・水晶体の疾患、甲状腺機能亢進症、網膜剥離、黄斑、後極変性、その他の感染症（真菌を除く）COVID-19、レスパイトケア

## 2. 地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟とは急性期医療を終了し、すぐに在宅や施設へ移行するには不安のある患者さまに対して在宅復帰に向けた診療、看護、リハビリや経過観察を行うことを目的とした病棟です。また、在宅療養されている患者さまのご家族を支援するため、一時的にご入院いただくレスパイト入院（介護支援入院）の受け入れができる病棟です。

## 3. 入院期間について

地域包括ケア病棟への入院期間は、最長60日を原則としています。患者さまの状態によりそれぞれ入院期間は異なりますが、医師が看護師・MSW・薬剤師・管理栄養士・リハビリスタッフ等とのチーム医療をもとに判断し、調整いたします。また、「在宅復帰の見通しが立っていない方」や「長期療養に至る可能性がある方」などについても積極的に受け入れを行っておりますのでご相談ください。



# ご紹介について



## 地域医療連携係より

飯山赤十字病院では、診療情報提供書として専用の紹介状(基本診療料の施設基準等で定められた様式に準ずる)を用意しておりますのでご利用願います。

なお、紹介患者さま受付に関する当院のシステムは下記のとおりですので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 受診日前の受付 (FAXによる受付)

- 受診希望日より前日(当院休診日を除く)の診療時間内に、紹介状をFAX送信していただきますと、当該診療科に予約の確認後、事前にカルテを作成してお待ちしております。
- 受診日時のお知らせは、地域医療連携係より直接患者さんに連絡することも可能です。患者さんは受診日に紹介状原本・健康保険証(公費受給者証等)を正面受付の「初めて来られた方」窓口にて提出していただきますと、係がご案内いたします。
- 患者さんの当院での待ち時間短縮のためにも、受診日数日前の受付(予約)をお勧めいたします。
- 胃カメラの予約はこちらの受付方法でお願いいたします。

## 受診当日の受付

救急診療を必要とされる場合等、受診日当日の受付は以下のとおりです。

### 診療時間内(8時30分～17時15分)

- お電話にて地域医療連携係へ連絡をお願いします。
- 紹介状をFAXにて送信していただき、原本は患者さん(付き添いの方)にお渡しください。
- 受付は「初めて来られた方」窓口にて行います。

### 診療時間外(夜間)及び休診日

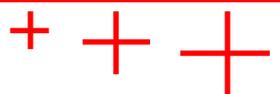
- お電話にて救急外来へ連絡をお願いします。
- 紹介状は患者さん(付き添いの方)にお渡しください。
- 受付は「夜間受付」窓口にて行います。

## その他

- 受診予定日に変更がありましたら直接、受診される診療科外来にご連絡ください。
- 当院医師の診療担当曜日は「外来診療担当表」をご参照願います。
- 指名医師が不在の時は、他の医師が診察させていただく場合があります。
- 紹介患者さんの返書未着、連携に関するご質問、その他お気づきの点などございましたら、ご遠慮なく地域医療連携係にお問い合わせください。

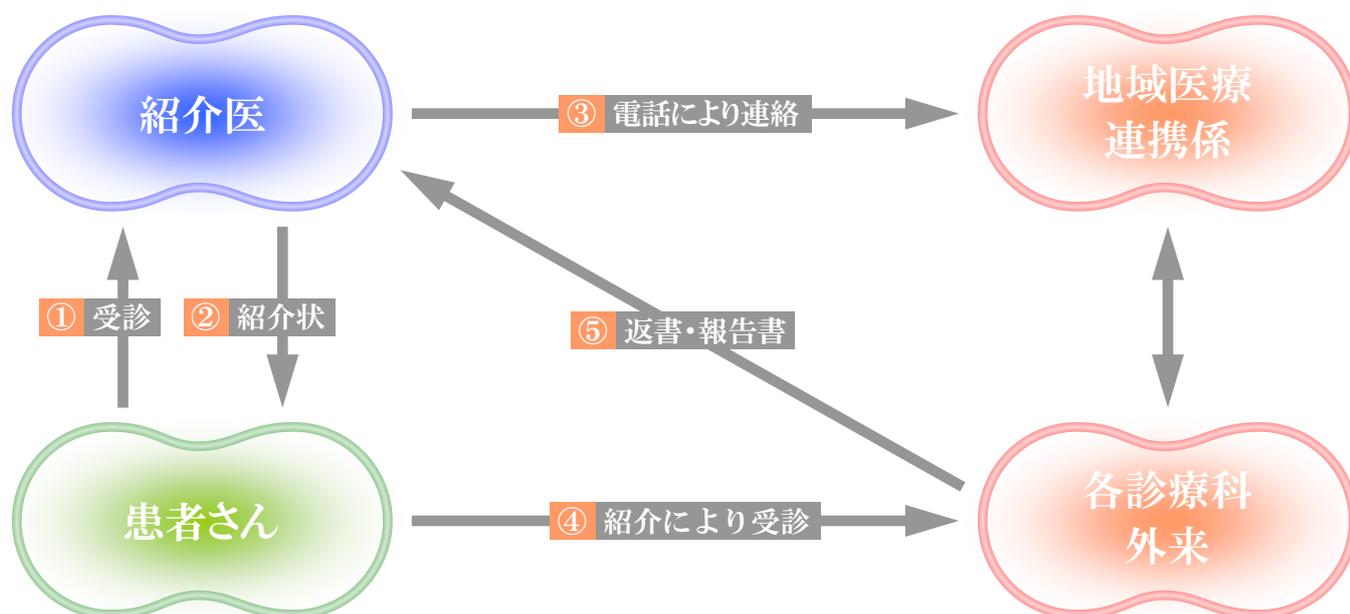
### 【飯山赤十字病院 診療時間等のご案内】

診療受付時間	8時30分～11時30分
診療時間	8時30分～17時15分
休診日	土曜日、日曜日、国民の祝日 年末年始(12月29日～1月3日) 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
地域医療連携係	担当 上松 美枝(地域医療福祉連携課長) 尾池 美恵(地域医療連携係長)
	TEL 0269-62-5152(直通)・4195(代表)
	FAX 0269-62-1982(直通)





# 当日受診の場合



## 【紹介医から地域医療連携係へ】

- お電話により「地域医療連携係」にご連絡をお願いします。(診療時間内のみ)  
※診療時間外及び休診日は「救急外来」へ連絡をお願いします。  
※当院の診療体制により紹介をお受けできない場合もありますので、必ず事前に連絡をお願いします。

## 【患者さんから飯山赤十字病院(各診療科外来)へ】

- 受診日に紹介状原本・健康保険証(公費受給者証)等を提出してください。  
※診療時間内(休診日の8時30分～17時15分)は正面受付の「初めて来られた方」窓口へお願いします。  
※診療時間外は「夜間受付」へお願いします。

## 【当院主治医から紹介医へ】

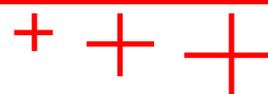
- 診察結果のご報告(返書)を郵送いたします  
※返書未着等、紹介患者に関するお問い合わせは地域医療連携係にお願いします。

## 【地域医療連携係受付時間】

平日のみ 8時30分～17時15分  
TEL 0269-62-5152 (直通)  
FAX 0269-62-1982 (直通)

## 【その他】

- 外来診療担当医師が不在の時は、他の医師が診療させていただきます。
- 平日の11時30分～17時15分は各診療科当番医が診療させていただきます。
- 診療時間外及び休診日は日当直医が診療させていただきます、必要に応じて各診療科当番医に引き継ぎ診療いたします。



# CT・MRI検査予約について



## CT・MRI検査の受付について

### 検査予約

- 放射線科に電話にてご予約をお願いいたします。
- 検査を実施する時間帯は原則として平日の午前中とさせていただきます。
- 検査前の問診や注意事項の説明(同意)のため、CT単純・骨密度検査は30分前、MRI単純は45分前、CT造影MRI造影検査は1時間前に来院していただくよう患者さんにお伝えください。

### 診療情報提供書(紹介状)

- 検査の日程が決定しましたら当院専用紹介状にご記入のうえ、地域医療連携係までFAX送信をお願いします。(原本は患者さんが当日持参してください)
- 診療科は「放射線科」としてください。
- 受付は「初めて来られた方」窓口にて行います。

### 検査(画像)データ

- 検査終了後、患者さんに検査データ(CD又はフィルム)をお渡しいたします。(返却不要です)
- 当院では電子媒体によりデータを保管させていただきます。

### 画像診断(読影)及び返書

- 放射線科専門医が画像診断を行い、後日、返書として報告書を郵送させていただきます。

### その他

- 頭部CT・MRI検査の場合は、当院の脳神経外科医が患者さんの診察およびCT・MRI検査の読影を行い、検査の画像データ(CD又はフィルム)と報告書を患者さんにお渡しいたします。(検査予約・診療情報提供書(紹介状)に関する事項は上記と同様です)

## CT検査にあたりご理解いただきたい事項

### 食事制限について

- 腹部領域…造影の有無にかかわらず朝食を止めてください。ただし、水・お茶は摂取していただいて結構です。
- その他の部位(造影剤を使用する場合)…上記腹部領域に準じてください。
- その他の部位(造影剤を使用しない場合)…制限はありません。

### 造影剤使用検査について

- 腎機能の悪い方、喘息の方、アレルギーのある方の造影剤使用検査はできない場合があります。
- ふだん薬を服用している方で朝食を止める場合、薬の内服は検査に差し支えありません。
- ただし、糖尿病薬や鎮痛薬の種類によっては事前に休薬をお願いする場合があります。

## MRI検査にあたりご理解いただきたい事項

### 検査できない方

- 心臓ペースメーカー・埋込型除細動器など体内電子装置が留置されている方。

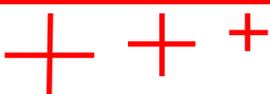
### 検査できない可能性のある方

- MRI非対応の金属インプラントが体内に留置されている方。(磁石を備えた入れ歯や、治療で体内に埋め込んだ素材の不明なインプラント)
- 検査時点で妊娠の可能性のある方。

\*その他、「MRI検査実施チェックリスト」に詳細が記載されていますのでご確認ください。

### その他ご注意いただきたい事項

- MRIは検査時間が長い検査です。(30分程度)不安な方は検査予約時にご相談ください。
- 腎機能の悪い方、喘息の方、アレルギーのある方の造影剤使用検査はできない場合があります。
- 腹部領域の検査を予定する場合は、朝食を食わずにご来院ください。薬、水分は取っていただいて結構です。
- 入れ歯、時計等の金属製品は事前に外すか、当日身に着けて来ないようにお願い致します。
- その他、疑問や不安なことがございましたら検査予約時にご相談ください。



# 地域医療福祉連携課



## 地域医療福祉連携課の概要

地域医療福祉連携課では、適正で効率的な医療を提供するために、地域の医療機関・各種施設との機能分担と連携を推進しています。

## 主な業務内容

- 医療機関との連携  
受診・検査の紹介患者さまの予約調整、転院調整を行っています。
- 医療福祉相談  
病気やけがにより起こる困りごとを、医療ソーシャルワーカー（MSW）が相談を受けています。
- 入退院支援  
各病棟に退院支援専任看護師を配置し、MSWと共に多職種と連携し、入院早期からの退院支援を行っています。
- 出前講座の受け窓口
- ボランティアの受け窓口
- 広報活動等
- レスパイト入院の相談・調整  
医学的管理が必要で在宅療養をされている方が、介護者の事情で在宅介護が一時的に困難になった場合に入院していただけます。  
たとえば・・・
  - ・介護者が病気やけがにより介護することが困難になった場合
  - ・介護者が介護疲れしてしまった場合
  - ・冠婚葬祭や急用のため介護ができない場合
  - ・介護者が旅行に出かける場合

### 【お問い合わせ先】

#### 【地域医療福祉連携課】

平日のみ 8時30分～17時15分

TEL 0269-62-4195 (代表)

※上記時間以外の緊急レスパイトも可能です。  
その際は救急外来へお問い合わせください。



# 訪問看護ステーション



## 訪問看護ステーションの概要

当院の訪問看護ステーションでは、ご利用いただく方がより自分らしく生き生きと過ごされ、ご家族の方が安心してお世話できますようにお手伝いいたします。

## 訪問看護ステーションの特色

- 多職種による「訪問チーム」でご自宅での療養を支援します  
医師、看護師、理学・作業療法士、薬剤師が訪問チームを組んで訪問し、ご自宅での療養を支えます。寝たきりの方はもちろん、経管栄養、在宅酸素療法、吸引、在宅中心静脈栄養、人工呼吸器等の医療処置が必要な方の在宅療養も支援します。
- 24時間365日対応します  
看護師による24時間体制で緊急の場合にも主治医と連携し対応します。
- ターミナルケアを支えます  
住み慣れた家で最後までお過ごしいただけるように、医師の指示による疼痛管理や症状緩和などにも適切に対処します。
- 専門家による在宅でのリハビリが可能です  
理学療法士や作業療法士が訪問し、拘縮予防や機能の回復、福祉用具の利用相談などもしています。
- 医療保険・介護保険の双方に対応できます  
一般には介護保険による訪問看護ですが、40歳未満の方や末期がんなど特別な疾患の方には医療保険での訪問看護を行います。
- 褥瘡ケアに関して専門の看護師が同行訪問します  
必要に応じ皮膚・排泄ケア認定看護師が同行訪問し、最適な褥瘡ケア方法をアドバイスします。
- 訪問看護の内容
  - ①病状の観察
  - ②清拭・洗髪・入浴の介助及び指導
  - ③床ずれの予防・処置
  - ④医療機器の管理
  - ⑤リハビリテーション
  - ⑥排泄コントロール及び介助
  - ⑦家族への介護指導・相談
  - ⑧ターミナルケア
  - ⑨医師の指示による医療処置

【事業所名】 飯山赤十字病院訪問看護ステーション

【事業所番号】 2061390023

【所在地】 〒389-2295

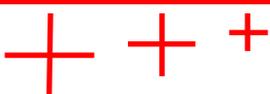
長野県飯山市大字飯山226-1

TEL 0269-62-4195 (代表)

FAX 0269-62-4449

【営業日及び時間】 平日のみ 8時30分～17時15分

【お申し込み方法】 かかりつけの医師、医療ソーシャルワーカーまたは直接訪問看護ステーションにご相談のうえ、お申し込みください。



# 居宅介護支援事業所



## 居宅介護支援事業所の概要

当事業所ではご利用者さまが、介護が必要な状態になっても、可能な限りその方らしい自立した生活が送れるようにご支援致します。

## 居宅介護支援とは

介護保険で要介護・要支援認定を受けられたご本人及びご家族の依頼により、利用者さまの心身の状態およびご家庭の状況に応じて、利用者さまの希望に基づき、適切なサービスが総合的に提供できるように居宅サービス計画（ケアプラン）を作成致します。また、介護がスムーズに行えるようにサービス実施機関との連絡及び調整を行います。

## 主な業務内容

- 居宅介護サービス計画（ケアプラン）の作成
- 介護サービスを利用する為に必要な連絡調整
- 要介護認定の申請代行
- その他介護に関するご相談

### 【ご利用料金（ケアプラン作成料）】

要介護または、要支援認定を受けられた方は介護保険から全額給付されますので、自己負担は発生いたしません。

交通費は通常の事業実施区域（飯山市）にお住まいの方は無料です。

【事業所名】 飯山赤十字病院指定居宅介護支援事業所

【事業所番号】 2071300483

【所在地】 〒389-2295

長野県飯山市大字飯山226-1

TEL 0269-62-4195 (代表)

FAX 0269-62-1982

【営業日及び時間】 平日のみ 8時30分～17時15分

【お申し込み方法】 かかりつけの医師、医療ソーシャルワーカーまたは直接居宅介護支援事業所にご相談ください。





## 健診部の概要

健診部では、地域の皆様をはじめ多くの方々の病気について早期発見・早期治療を目指した体制を整えております。

## 医師紹介

渡邊 貴之	健診部長(兼務)
中村 学	健診部医師(兼務)
山本 佳那	非常勤医師

## ドックについて

### ●人間ドック

生活習慣の変化に伴い、心臓病、脳卒中、糖尿病をはじめとした生活習慣病にかかる人が増加しています。職場や自治体などで受ける健康診断は検査項目が限られていますが、人間ドックではより多くの検査項目により調べることができます。

- ・日帰りドック料金 38,500円(消費税込)

### ●脳ドック

検査の内容としては、脳MRI検査、頸部血管超音波(エコー)検査、認知機能検査、必要に応じて血液検査をおこない脳の状態をお調べします。

- ・脳ドックのみ料金 48,400円(消費税込)
- ・脳ドック+人間ドック料金 66,000円(消費税込)
- ・簡易脳ドック料金 29,500円(消費税込)

### ●膵ドック

膵臓についてMRIや血液検査の結果からお調べいたします。膵癌は症状がない状態で発見することが大切ですので、お酒やタバコがお好きな方や両親、兄弟姉妹、子供に膵癌が見つかった方には特にお勧めしております。

- ・膵ドック料金 25,000円(消費税込)

検査項目やオプション検査など更に詳細な情報につきましては当院のホームページ(<https://www.iiyama.jrc.or.jp/>)に掲載しております。ご不明な点等ございましたらホームページをご確認いただくか、健診部窓口又はお電話にてご相談ください。

### 【お申込み・お問い合わせ先】

完全予約制となっております。

院内の健診部においでいただくか、お電話にてお申し込みください。

### 【健診部】

平日のみ 8時30分～17時15分

TEL 0269-62-4195(代表)



日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

人間を救うのは、人間だ。 Our world. Your move.



アクセス

- JR 飯山線・北陸新幹線ご利用の場合：飯山駅より 徒歩3分
- 高速道路ご利用の場合：上信越自動車道 豊田飯山インターより車で10分



飯山赤十字病院

〒389-2295 長野県飯山市大字飯山 226-1  
TEL: 0269-62-4195 (代) FAX: 0269-62-4449 (代)

飯山赤十字病院

